

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野 清 宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 西川豊長
 幹事 中山信夫
 会報委員長 西尾正巳

No. 25

築け未来を 行動力と先見の眼で

BUILD THE FUTURE WITH ACTION AND VISION

1996~97年度 RI会長 ルイス・ピセンテ・ジアイ

きょうの例会

第696回 平成9年1月7日(火)

新年例会 (松楓閣にて12時30分より)

先週の記録

第695回 平成8年12月24日(火) 晴

◇ “それでこそロータリー”

◇ ビジター紹介 1名

◇ 出席報告

会員 69名 出席 47名

出席率 68.12%

前々回 12月10日 (修正出席率) 98.55%

◇ ニコボックス

秋山 茂則君 なにもかも 終わってみれば
年の暮! 皆さんお世話になりました。

加藤 大豊君 平成8年今年も皆さん大変御
世話になりました。

小坂井盛雄君 最終例会になりました。本年
中有難う。来年もよろしく。

佐久間良治君 先週の家族会大変に御礼申し
上げます。

竹内 眞三君 最近折角の例会を“中途退席”
される方が多い様に思います。SAAや会場設
営委員会の御骨折を考え、少しでも中退が減
る事を念じて。

足立 一成君、二村 聡君、釜谷 健一君、

河村 政孝君、菊池 昭元君、木全 昭二君、

小林 明君、小杉 啓彰君、小山 雅弘君、

久野 峯一君、黒野 貞夫君、柵木 充明君、

松居 敬二君、水野 民也君、水野 賀禎君、

中根 三郎君、西川 豊長君、西尾 正巳君、

大口 弘和君、尾関 武弘君、鷺谷 龍男君、

佐野 寛君、杉山 貞男君、鈴木 正男君、

鈴木 理之君、田中 昭二君、谷口 優君、

舎人 経昭君、津牧 孝臣君、和田 正敏君、

渡辺 辰夫君、吉田 節美君 今年最後の例

会となりました。よいお年をお迎え下さい。

三好 親君 結婚記念日祝い。

◇ 中山幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催致し
ますので理事役員の方は、2F 橋の間にお集
まり下さい。

2. 次回例会は、1月7日(火)で例会場都合
の為、12:30より場所を松楓閣に変更して開
催致しますので、お間違いの無いようご出
席下さい。

◇ 年末謝礼贈呈

愛知厚生年金会館、社会保険サービス(株)

◇ 鷺谷国際奉仕委員長 WCS視察旅行のご案内

本日お手元に配布致しましたが、2/21~2/24
視察旅行でマニラに行くご案内が来ておりま
すので、奮ってご参加下さる様お願い申し上
げます。

◇ 西川会長挨拶

年の瀬も押し迫り、今年も余すところあと
7日となりました。

不行届きな会長、幹事ではありますが、青山
副会長始め理事、役員の方皆さんのご支援をい
ただき、1996~97年度の上半期を過ぎようとし
る折返し点に達することができましたことを、
改めて感謝申し上げます。

前回、当クラブにとって大イベントである
年末会員家族懇親会には、多くの会員、家族
の方々にご参加頂きまして、本当にありがと
うございました。また、佐久間親睦活動委員
長始め委員の方皆さんには、大変ご苦勞様でご
ざいました。厚くお礼申し上げます。

今日は今年最後の例会で、友愛の日であり、
またクリスマスイブでありますので、キリス
ト教国イギリスのクリスマスはどんな過ごし
方をするのか、ある新聞記者のリポートをか
いつまんでお話ししようと思います。

ロンドンの普通のオフィスは、24日は昼頃で
休みとなり、25日とボクシングデーと呼ばれる
26日が休日であります。24日午後になると、

“Have a happy Christmas holiday”などと挨拶を交わし、親元や祖父母の住む田舎へ出掛けてゆきます。1人住まいの老人も親戚や友人の家に数日間泊りに出かけます。イギリスの若者は独立心が強く、18歳にもなれば親元に住む者は稀で、親子関係は希薄といわれていますが、クリスマスの数日間はお互いに行き来をするということでもあります。イブの夜は静かな夜を迎え、教会へ出かけます。

25日は、まずクリスマスツリーの下に置かれたプレゼントを開け、朝の礼拝に教会へゆき、戻ると盛大なクリスマスランチ(ローストターキーやローストチキン)となります。エリザベス女王の恒例のスピーチがラジオTVで全国に放送されるのもこの日です。

大みそかは午後3時まで働き、夜は自宅やホテルで友人たちとパーティを開き、シャンパンやワインを飲みながら、お祭りムードの中で12時の鐘が鳴ると、互いにキスをして新年を祝います。トラファルガー広場では、ビッグベンの鐘が鳴り、花火が上り、車は一齐にクラクションを鳴らします。

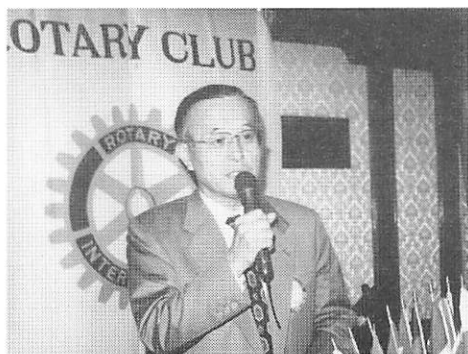
では、皆さん良いクリスマス、お正月をお迎え下さい。

友愛の日

◇講演(11月19日分)

“医学の進歩と人間の叡智”

会員 水野 宏君



私はこれまで経営者の集まりや、他のライオンズやロータリーなどで話をさせて頂く機会がありましたし、また昨年は中京テレビさんの健康番組にも半年ばかり出演させて頂いたりした機会もあったのですが、こうして自分の所属するクラブで話をさせて頂くということは大変緊張をするものであります。

ところで今日は医学の進歩と人間の叡智などという大きな演題を掲げさせて頂きまして恐

縮に存じます。15分ということですからかいつまんでお話をさせて頂くことにいたします。

近年、科学技術の発達はめざましいものがあります。東京と名古屋が6時間近くかかった戦後、新幹線ができて二時間もかからず日帰りです仕事ができるようになり、さらに近くリニア新幹線ができれば、一時間で大阪まで走ってしまうという時代になりました。

数年前の、イラン、イラク戦争では攻撃ミサイルがとんでくるのを、迎撃用ミサイルが迎え撃つ様子を、世界中の人が目の前に見ることができました。つまり時間を限りなく縮めるという縮時化と、リアルタイムにもものを見る即時化が進む一方、高速カメラを使って花が開くのをつぶさに観察できるという時間を拡大できるという拡張化が進んでいるのであります。

こうしたことは医学の分野でも例外ではありません。技術の発達は我々がかつてこれだけは間違いないであろうと確信してきた多くの価値観や既成の基本的概念を次々に崩壊させることになりました。

例えば、生と死の問題であります。

人間の生について

人間の生は、過去いかなる人類の歴史の中でも、母親のお腹からおぎゃーと生まれてきた瞬間が生命の誕生であり、これを疑うことはありませんでした。

古来、人間の生は神秘的なものとされ、いかなる宗教感のもとでも子供は神からの授かりものとされてきました。ところが最近、人工受精の技術が発達してからその概念をすっかり変えることになりました。この人工受精についてはその方法として、体内受精と体外受精という二つがあります。体内受精というのは夫の精子を妻の排卵の時期に合わせて子宮内に注入してやるとか、卵管内に移植することによって受精させるものであります。

日本でも1949年以来、この方法で生まれてきたのがすでに一万人を超えたといわれています。

しかし最近ではもうひとつの方法である体外受精が可能になって問題を更に複雑にしています。この体外受精というのは、女性の卵巣から卵子を取り出し、顕微鏡下で精子と卵子を合体させ受精卵を作り、これを女性の子宮に戻すというものでいわゆる試験管ベビーといわれるものです。

1978年イギリスでルイーズ ブラウンが誕生

しました。日本でも83年に、試験管ベビーが誕生してからすでに300人近い子が生まれてきました。そしてこの間に精子や卵子の凍結保存の技術も進んできました。

ところが一方では多くの訴訟問題が起きてきました。オーストラリアでは、受精卵の凍結保存をしておいた大富豪が飛行機事故で死亡した時にその受精卵をめぐる相続の裁判が起きました。89年には離婚した夫婦の間で凍結受精卵の所屬をめぐる訴訟になりました。更に受精卵は他人のお腹を借りて出産も可能なことから代理母が出てくる様になると、この代理母からこれは自分の子であるという訴えも起こる様になりました。また、人工受精した夫婦の白人夫婦のお腹から黒人の子が生まれてきたということも起こってきました。こうした問題の根幹には、人間の生とは、受精卵の時に始まるのか、子供ができてくる妊娠8週とか9週を指すのか胎動を感じる4か月なのか、本当に生まれてきた時を言うのかわからなくなってしまったのです。

もっと言えば、精子のもつ遺伝環境や本来の夫とか妻とかいう立場すら怪しげなものになってきてしまったといえるでしょう。

最近では、超音波検査をやりますと胎児の頭や足や手の動いているのをつぶさに見ることができるようになりました。

この時期の羊水の検査をしますと、男女の性別がわかるばかりか、知恵遅れの子ができるダウン症群や奇形の有無が勿論わかります。そればかりか高血圧や糖尿病、高脂血症などの遺伝的素因があるかどうかまでわかる様になってきたのです。

生命の誕生をめぐる今技術の発展とは裏腹に、多くの問題が起こっています。

どこかの国の人がその気になれば、男女の生み分けも可能になりました。ある悪い専制君主が出てきますと、自分の精子を何年にもわたって凍結保存し、自分のコピー人間を作ることにも可能なのです。IQの高い精子をお金で買って人に子供を産ませることもできるのです。こうなりますと子供はある人々にとって、子供は授かるものではなく、作るものでありもっと言えば、ある意図を持って生産さえるものだという考え方さえ出てくることになるのです。

人の死めぐって

人の死とは簡単なことです。心臓が止まった時です。そう我々は信じてきました。

もう少し、補足させて頂けば、呼吸が止まり、

瞳孔が散大し、そして心臓の音が聞こえなくなった時、医者は死を宣告します。基本的にはそれは今でも変わっておりません。ところが最近、生命維持装置の進歩などにより、心臓死を待たずに脳死をもって死の宣告すべしという考え方が出てきました。

この脳死という概念が生じてきた時にその長い間信じてきた死の定義が揺らぐことになりました。

その理由は三つあります。

ひとつは、言うまでもなく臓器移植という目的の上で必要が出てきたのです。

第二は、極めて人道的な理由によるものです。死が間近に迫っており、回復不可能というのに、強制的な人工呼吸器による延命装置は人間の生命の尊厳に反するというものであります。

第二、第三の理由についてはしばらくの時間があればある種の合意は成り立つと考えられますが、臓器移植の観点から死の定義を考えるとまだまだ問題も多いものと思われれます。脳死といっても、大脳死、脳幹死、全脳死等があります。それぞれについて今説明する時間はありませんが、大変複雑なものです。生とか死について現世期になって議論することは不思議なことですが、人間にとってこの定義すらここで確認しなければならなくなってきたのです。

生とか死のようなものばかりでなく、日常的に私どもの診療の中にも問題は起こっています。私は内視鏡を使って胃や腸の検査をしています。機械が進歩したために普通では見ることのできなかった、2ミリや3ミリの小さな病変を見つけることがあります。この細胞について病理の専門家がある人はがんであるといい、ある人はがんでないといえます。大腸ポリープを内視鏡的に切除した際に一部にがんが混じっていることがあります。この時、あらためて開腹手術に回すのか、その必要がないのか、現時点では誰もが絶対的判断を下せないこともしばしばあります。

いろいろ述べましたが、私が結論として申し上げたいのは、テクノロジーは専門家にゆだねておけば、とどまるどころを知らませんが、今、我々が、しっかりした哲学や倫理観をもってある種の制御をしなければ、決して戻ることのできないブラックホールの中へすいこまれていってしまうかもしれないということです。これが今世紀に必要な人間の叡智というものであります。

お手紙紹介

財団奨学生 阿古 智子さん

拝啓 日本はますます寒さが厳しくなってきたと聞きます。お元気にされているでしょうか？

香港も時折急に冷たい風が吹くことがありますが、まだ本格的な冬がやってきたという感じはありません。しかし、日本の秋のように紅葉を楽しんだり、師走のせわしさを感じることがなく、少し残念です。(香港では2月に正月を祝います)

こちらに来て3ヶ月程経ち、生活を楽しむ余裕も少し出てきました。日々の研究活動は大変厳しく、弱音をはきそうになることもありますが、すばらしい友人や先生たちに恵まれ、助けてもらっています。12月には研究成果を国際学会で発表する予定で、今その準備に追われています。様々な研究者の方々と出会い、有意義な議論ができればと願っています。

先日、ロータリークラブの例会に出席してスピーチをしてきました。私のつたない話術にみなさんたいくつされたかもしれませんが、とにかく一生懸命話しました。

これからどんどん日本と香港の橋わたしをするためにお役にたてれば良いなと思っています。

先日は、ロータアクトの方をご紹介いただき有難うございました。感謝しています。師走の折、お忙しくされていると思いますが、お体に気をつけて、楽しいクリスマス&お正月をお過ごし下さい。

又お会い出来る日を楽しみにしております。

敬 具

◇12月度理事会議題

1. WCS活動寄付の件
2. ボールハリス追悼例会の件

◇例会変更のお知らせ

- 名古屋瑞穂RC 1/9(木)創立17周年記念例会の為、名古屋ヒルトンにて
- 名古屋東RC 1/13(月)例会会場都合の為、1/14(火)ナゴヤキャッスルにて
- 名古屋西南RC 1/16(木)名古屋港RCと合同例会の為
- 名古屋港RC 1/17(金)名古屋西南RCと合同例会の為

ロータリーワールドより

芸術活動を行なう元奨学生

1991-92年度にロータリー財団の大学院課程の奨学金を得て芸術を学んだ米国イリノイ州シカゴ郊外出身のエリック・ブローム氏はブロンズ、しっくい、粘土、その他、入手できるどんな材料からでも、実に見事な作品を作り出します。熟達した彫刻家であり、個人により依頼される胸像を専門としていますが、ブローム氏は、更に、いくつもの大規模な彫刻作品を想像する彫刻家としても選ばれたことがあります。

最新の作品には、有名なバスケット・ボール選手マイケル・ジョーダンの亡くなった父親に敬意を表してシカゴに新設された「ジェームズ・ジョーダン少年少女クラブ」のための、よく目立つ3つの作品があります。2つの浮き彫り細工の故ジョーダン氏の姿が、この建物の入口の両側に置かれ、ロビーには、ブロンズ製の胸像が飾られています。財団学友であるブローム氏は、故ジェームズ・ジョーダン氏の未亡人デロリスさんと、シカゴ・ブルズ組織によって、この仕事のために選ばれました。

29歳のブローム氏に依頼されたその他の作品には、シカゴ公立図書館のための米国最高裁判所判事故サグッド・マーシャル氏の胸像、アリゾナ不動産開発事業のためのアメリカ人発明家ジョージ・ワシントン・カーバー氏の肖像などがあります。

イリノイ州のディア フィールド・ロータリークラブがスポンサーとなって、ブローム氏は、財団奨学金で、英国のロンドンのロイヤル・カレッジ・オブ・アート(王立芸術大学)に留学しました。ブローム氏は、「頭」という題のクラスから最も影響を受けたと語りました。このクラスは頭蓋骨と骨の構造を研究することで、芸術的な印象と現実的な形との間のバランスをつくるのを助けるものです。

彼のロータリー奨学生としての1年で獲得した多くの技術の中のひとつは、ブロンズ鑄造でした。「自分で鑄造をする方法を学ぶというユニークな機会に恵まれました。このプロセスは、ほとんどの彫刻家が、関与しないものです」とブローム氏は語りました。

ロンドンでは、また、この若い彫刻家が、最初の個展を開いた場所でもあります。この個展は、別の個展を開く機会をも、もたらしました。「あの1年は、僕の仕事のあり方全体を形作ったと言えます」と、ブローム氏は述懐しています。

◇次回例会(1月14日)

講演“無題”

漫画家 佐々木みほさん (紹介 三好君)